



きつたか
橋高 行格
水曜会
(50分)

障がい福祉における 相談支援体制の充実は

問

①相談支援専門員の不足や相談支援事業所の運営の厳しさについての認識は。

②人材確保や事業所への支援、地域の相談支援体制を強化するための今後の取り組みは。

答

①相談支援事業所において



かとうよういちろう
加藤陽一郎
水曜会
(50分)

地域農業経営基盤強化 促進計画(地域計画)は

問

策定と更新を通じて見えてきた課題は。また、今後の農地の集積、集約化の推進は。

答

農業者の高齢化に伴う、ため池や水路の維持管理を行う人員の不足、大型機械の導入や農道の拡幅等の基盤整備などが課題と

人員確保の難しさや困難な案件による業務負担の増加など、運営面での厳しさがあると認識している。相談支援専門員の確保のため、事業所に従業者の資格取得に係る費用の補助を実施している。処遇改善加算の対象に相談支援事業も加わったことから、事業所に対し加算の取得に向けた支援を行う。

②基幹相談支援センターでは市内を5つのブロックに分け、月1回の連絡会を開催している。連絡会では、基幹相談支援センターや地域の相談支援事業所等が情報交換や地域課題の共有などを行っている。なっている。農業委員会や農地中間管理機構と連携して、農地の集積、集約化につなげていく。

都市計画道路川南湯田村駅線は

問

整備区間の進捗状況は。

答

国道486号から南側の約170メートルの区間は整備済みである。高屋川から南側の神辺駅御幸線から延長約430メートルの区間は今年3月末に神辺駅御幸線と併せて開通した。残る延長約660メートルは、昨年度末時点で用地取得率が約40%である。



ちえ
千葉 真一
水曜会
(50分)

公共施設再構築は

問

単なる施設削減ではなく将来にわたり必要な公共サービスを継続的に提供するための取り組みであると考えている。再整備の進め方の方針は。

答

地域の特性や多様化する市民ニーズ、社会の変化などを踏まえた上で、必要な機能を確保しな



かいしろう
貝原 大和
誠友会
(50分)

福山市都市ブランド戦略は

問

20代、30代の市外女性という限られた層をターゲットに設定した理由は。

答

本市の認知度や魅力度は中核市の中でも低い位置にある。マーケティングやブランディングに関する複数の専門家から、限られた予算の中で都市ブランドの取

がら、集約、複合化などにより適正な配置と保有総量の縮減を図る。

防犯カメラは

問

設置促進事業補助金制度を活用した設置状況は。また、新規設置補助の廃止理由は。

答

2018年度までに本制度を活用して地域団体分140台を設置した。制度創設前の2013年度と比べて刑法犯認知件数が約3割減少したことから2019年度以降の新規設置への補助は廃止し、機器更新への補助を開始した。取り組みを推進するためには、ターゲットに市を代表する地域資源を集中して発信することが効果的との意見をいただいた。ターゲット設定の理由は、福山みらい創造ビジョンの重点プロジェクトである、若者や女性に選ばれる都市づくりを踏まえている。この世代はSNSの利用率が高く、発信力や収集力に長けており、他世代にも広く情報が拡散される可能性が高いことも理由の一つである。

本戦略のターゲットは
20代・30代の市外女性

